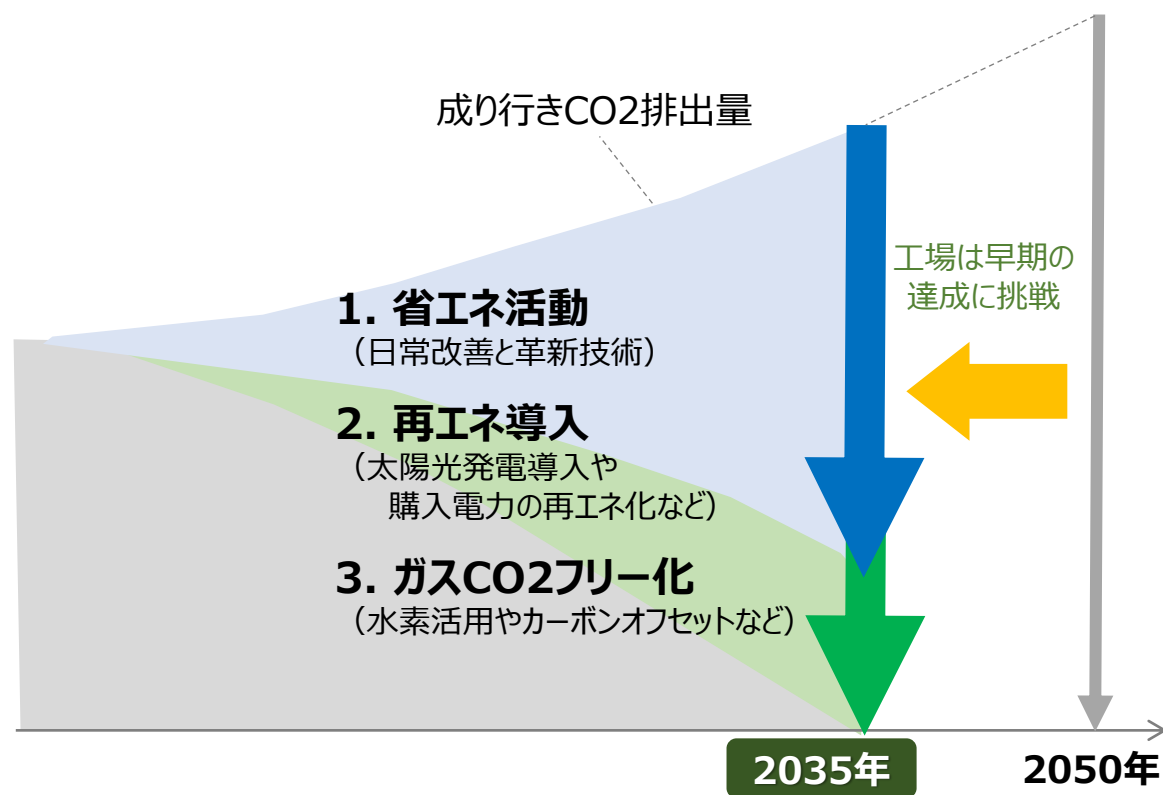


## ■トヨタ九州2035年工場カーボンニュートラルへの方策

トヨタ九州は2035年工場カーボンニュートラル達成に向け、**省エネ活動・再エネ導入・ガスCO2フリー化**の3つの方策を軸に活動を推進しています。



## 1-1. 省エネ活動：日常改善

生産現場を主体に省エネアイテム発掘活動(ESCO活動※)を推進しています。

### 省エネアイテム発掘活動(ESCO活動)

※Energy reduction **S**upport & **C**ooperation(エネルギー低減・支援 & 協業)

#### <現地現物による調査>



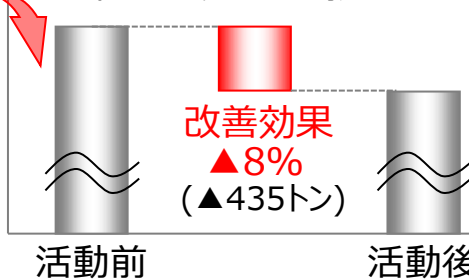
#### <改善検討ミーティング>



#### <部品ショップ活動>

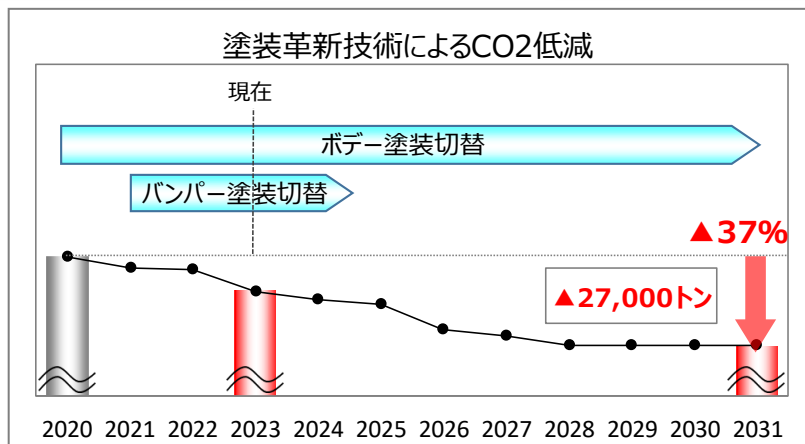
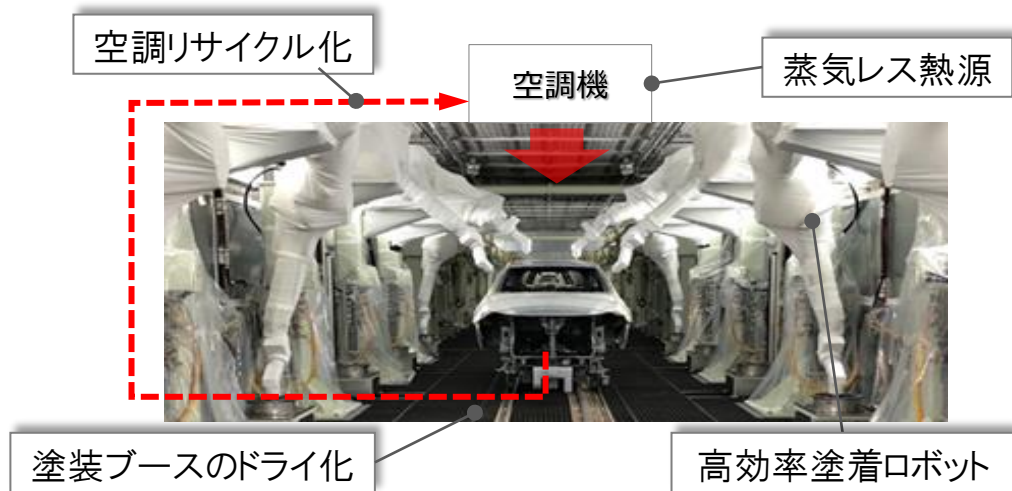
- ・空調効率化▲40トン
- ・エアブロー改善▲14トン
- ・各ファン・ポンプINV化▲50トン  
など

#### <部品ショップCO2排出量>



## 1-2. 省エネ活動:革新技術

塗装工程の革新技術（ドライ化、高効率塗着）導入により、大幅にCO<sub>2</sub>を削減します（2020年より順次切り替え実施中）。

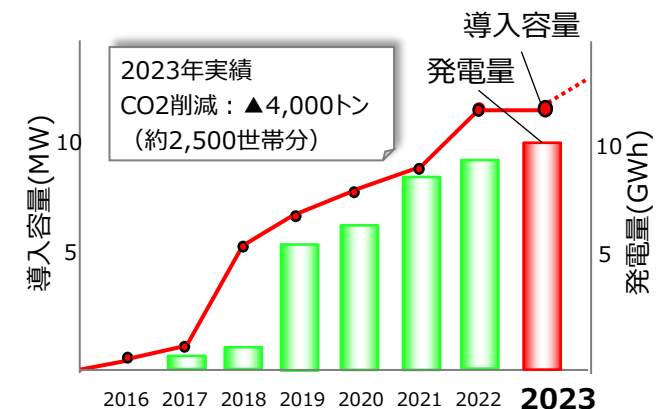


## 2-1. 再エネ活動：太陽光発電拡大

工場屋根上の太陽光発電拡大と購入電力の再エネ化により、再エネ導入を推進しています。

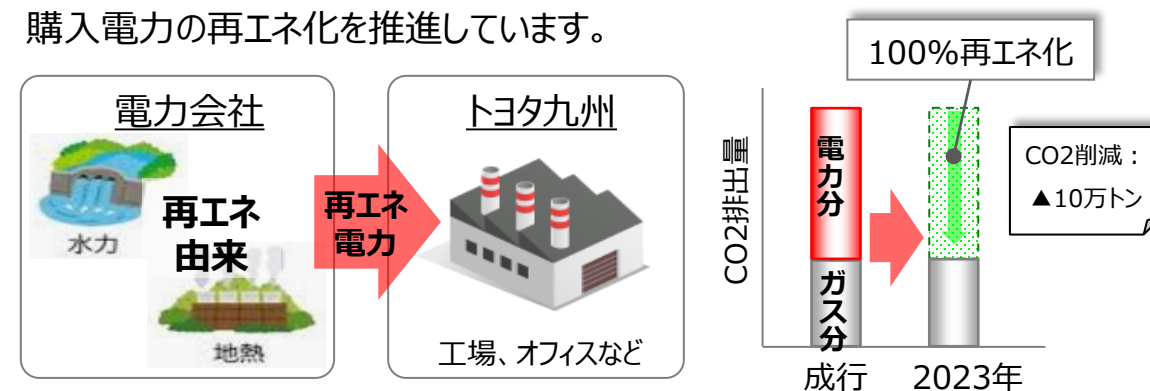


3工場累計  
12.4MW導入済



## 2-2. 再エネ活動：購入電力の再エネ化

購入電力の再エネ化を推進しています。



### 3-1. ガスCO<sub>2</sub>フリー化：水素混焼ボイラ

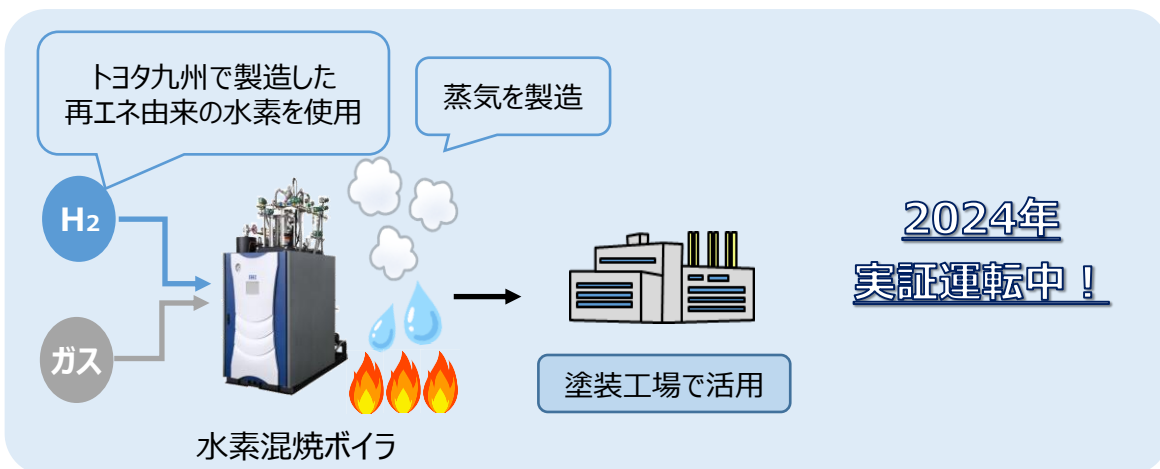
水素はカーボンニュートラルに向けた次世代エネルギーとして注目されています。トヨタ九州は、(株)IHI汎用ボイラ様と水素混焼ボイラを共同開発中です。

〈水素の特長〉



〈水素混焼ボイラ〉

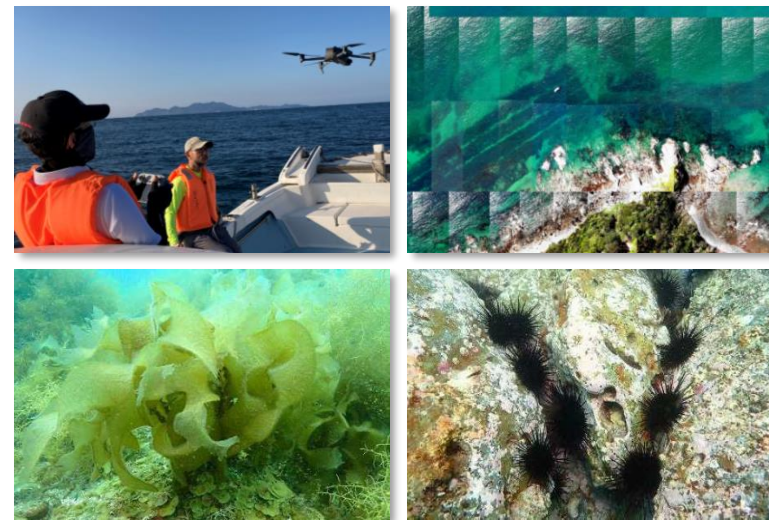
ボイラは水を蒸発させて蒸気を製造する装置です。水素混焼ボイラは、燃料である都市ガスの一部を水素に置き換えています。



### 3-2. ガスCO<sub>2</sub>フリー化：ブルーカーボン

地球温暖化などの影響で、トヨタ九州に近い福岡県福津市津屋崎周辺や岡垣町波津周辺の海域で藻場が減少しています。このため、同海域で九州大学様とブルーカーボン創出技術の共同研究を進めています。

〈藻場の面積・種組成調査技術の開発〉



ドローンを活用した上空調査と潜水による水中調査の技術を開発しています。

調査データを  
提供したよ!



この技術を活用すれば、誰でも簡単に藻場を調査して適切に保全できるため、地域の環境保全活動に貢献できます。